

読 響

Yomiuri Nippon
Symphony
55th
Orchestra
55th Anniversary

ブルックナーは、爆発だ!

GENNADY ROZHDESTVENSKY BRUCKNER Symphony No. 5

in B flat major (Schalk edition)

SUBSCRIPTION CONCERT, No. 568 / Fri. 19th May 2017 19:00

Tokyo Metropolitan Theatre

ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー (名誉指揮者)
ブルックナー: 交響曲 第5番 変ロ長調 (シヤルク版)

読売日本交響楽団 第568回 定期演奏会

2017 5/19(金) 19:00 東京芸術劇場コンサートホール

S ¥7,500 A ¥6,500 B *solodviti* C *solodviti*

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

<http://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 協力: アフラック 事業提携: 東京芸術劇場

ロシアの巨匠が贈る千載一遇の「ブル5」



ロシアの巨匠指揮者ゲンナジー・ロジェストヴェンスキーが、前回の来日からわずか半年ちょっとの間隔で、再び読響の指揮台に立つことになった。それだけでもニュースなのに、タクトをとる作品がブルックナー屈指の傑作である交響曲第5番、しかも実演に触れるチャンスがめったにないシャルク版で、となれば、千載一遇の好機としか言いようがなくなる。

ロシア音楽の泰斗として高名な巨匠だが、意外なことにブルックナーの交響曲にも多大な関心を寄せてきた。その良い証拠が、1983年から88年にかけて、当時の手兵だったソヴィエト国立文化省交響楽団を振って録音したブルックナーの交響曲全集だ。ほぼ同時期に吹き込んだショスタコーヴィチの交響曲全集と並ぶ、巨匠の記念碑的な偉業だ。

この録音が凡百のチクルスと一線を画すのは、同じ曲でも成立過程で生まれた異なる版までほとんど網羅しているため、体系的にブルックナーのシンフォニーを見渡せる点だ。協力者や弟子から指

摘を受けるたび、執拗に試みを重ねた作曲家の本質を、深く理解したうえでの壮挙だったわけである。

巨匠は名誉指揮者の地位にある読響と、数多くの伝説的な名演を残してきた。近いところでは、昨年9月の定期演奏会で聴かせたショスタコーヴィチの交響曲第10番の凄演が、記憶に新しい。第1楽章冒頭から異様な緊張感に支配された演奏には、作曲者の生き抜いた苛烈な同時代を知るがゆえに表せる「怖さ」が、強烈に刻印されていた。パワフルな読響のアンサンブルは、その冷厳な解釈を完璧に音化した。それゆえ終演直後、会場は凍りついたような沈黙に沈み、すべての聴衆が巨匠と読響の至芸に打ちのめされたのだった。

読響とは幅広いレパートリーの共演歴を誇る巨匠だが、ブルックナーの交響曲は何と今回が初めてという。壮大な音の伽藍が立ち現れる名品を、どんな手練手管で料理してみせるのか。金管などが増強されたシャルク版をわざわざ指定するとは、これまたロジェストヴェンスキーらしい。固唾をのんで耳を澄ます稀有なひとときが、またやってくる。

Conductor GENNADY ROZHDESTVENSKY ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー (名誉指揮者)

今も第一線で活躍し、今年86歳を迎えるロシアの大巨匠。1931年モスクワ生まれ。20歳の若さでボリショイ劇場にチャイコフスキーのバレエ「眠れる森の美女」を指揮してデビュー。以後、モスクワ放送響やボリショイ劇場の音楽監督を務めたほか、80年代にはソヴィエト国立文化省響を創設し、ショスタコーヴィチ、プロコフィエフ、シュニトケら自国の音楽を、ツアーや録音によって世界に広めた。その他、BBC響、ウィーン響、ストックホルム・フィルなどでも要職を務めた。オペラでは、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、英国ロイヤル・オペラなどで活躍。録音も数多く、400枚以上のCDをリリース。近年も精力的に活動しており、シカゴ響などを指揮。読響とは1979年に初共演。以後もたびたび共演し、90年からは名誉指揮者の任にある。2001年秋には、勲三等旭日中級章を受賞。昨年9月に来日し、ショスタコーヴィチで壮絶な演奏を繰り広げ、聴衆から熱狂的な拍手喝采が沸き起こった。

読響日本交響楽団 第518回 定期演奏会

2017年 5月19日 (金) 19時開演

当日券の発行者が変更されました。

東京芸術劇場コンサートホール

S ¥7,500 A ¥6,500 B **SOLD-OUT** C **SOLD-OUT**

東京芸術劇場ホールは、東京都港区三軒茶屋2-1-1にあり、最寄り駅は有明線三軒茶屋駅です。最寄り駅からは徒歩約10分です。また、有明線三軒茶屋駅西口から徒歩約15分です。

東京芸術劇場には一時託児施設があります。学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を遺うことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390
*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>
*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 読響ホームページ <http://yomikyo.or.jp/>